

第三、本部一般報告

- 1、日常闘争.....四〇
- 2、選挙闘争.....四四
- 3、議会闘争.....五〇

第四、地方状勢報告

- 東京府支部聯合會、山梨縣支部聯合會、埼玉縣支部聯合會、宮城縣支部聯合會、岩手第一支部、會津支部、山形支部、北海道聯合會、新潟縣支部聯合會、長野縣地方.....南信支部
- 東信支部、北佐久支部、滋賀支部、大阪府支部聯合會、敦賀支部、兵庫縣支部聯合會、
- 周防支部、下ノ關支部、吳地方支部、高知縣支部聯合會、徳島縣支部

録

- 1、本部役員及中央委員.....一
- 2、運動方針書.....二
- 3、政策.....五
- 4、黨則.....八
- 5、議員行動方針書.....三
- 6、組織現勢一覽表.....四
- 7、所屬議員一覽表.....二

第一、昭和四年皮附四回我黨大會の要旨

昭和四年皮附四回我黨大會を迎ふるに當つて、我等は過去一ケ年間に於ける我國社會運動の一般状勢を略述すると共に、他無産政黨の動きにも一瞥を投ずるの必要なることを感ずる。それと共に労働運動、農民運動の推移と、その間に於ける我黨の進展の跡を辿ることが我黨本年度戦績を誇る上に於て極めて意義あることであらう。以下要約記述しやう。

本年度に於ける國際的又は國內的社會運動の大勢として先づ特筆すべきことは、社會民主々義の徹底的勝利のことである。無産階級解放運動上に於ける共產主義はその理論に於て、或は又その價值に於て到底社會民主々義に及ぶべきものに非ざることを諸ゆる點に於て實證された。社會民主々義勝利の鐘は世界に響き渡つて、もはや動かすべからざる解放指針を我等に示すに至つた。英國労働黨の勝利と第二次労働黨内閣の組織は、世界に於ける社會民主々義を奉ずる者にとりて多大の光明と希望を與へたるは勿論のことである。

我國に於ては田中反動内閣は諸ゆる彈壓と暴政に依つて無産階級の進展を阻止し、反動的労働政策農民政策をとるは勿論、陰謀、買収政治の結果、社會運動も極めて受難の時期に遭遇し、陰慘なる氣分を漂はすに至つた。濱口内閣又緊縮節約政策を盲信し令解禁を強行せんとする結果、無産階級の生活は極度に疲弊し、不景氣に依る大群は暴風に吹き廻され、深刻なる生活苦のために社會運動又受難の時期を繼續経験しつつあるのである。